

授 業 科 目 名	保育内容指導法 (造形表現)	教 員 名	守川 美輪	免許・資格 との関係	小学校教諭	選択
					幼稚園教諭	必修
授 業 形 態	演習	担当形態	単独	卒業要件	保育士	選択
科 目 番 号	FOI208	配当年次	1年前期		こども音楽療育士	
単 位 数	2単位			小幼コース	選択必修	幼保コース
科 目 目 録	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
一 般 目 標	幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「造形表現」のねらい及び内容を理解する。また、幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。					
到 達 目 標	<p>(1)領域「造形表現」のねらい及び内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「造形表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 2)領域「造形表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 3)幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 4)領域「造形表現」において、幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 <p>(2)領域「造形表現」の指導方法と保育の構想について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 2)領域「造形表現」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 3)指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 4)模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 5)領域「造形表現」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。 					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	<p>学生自身がイメージを持ち感性を働かせながら表現することを通して、表現の喜びを得るとともに、造形的な表現活動の能力や創造性を高める。子どもの発達を知り、造形表現活動のねらいと内容を理解し、ねらいの達成のための教材について体験的に学ぶ。さらに、製作過程を振り返り、製作によって幼児が発揮し伸ばさせる能力や材料用具等の準備、保育者の援助や配慮について検討し、保育指導案を作成することで、造形表現活動を幼児に指導できる力を養う。</p> <p>アクティブラーニングとして、振り返り、レポートなどを取り入れる。</p>					
授 業 計 画	<p>第1回：表現とは何か、造形表現とは何か理解する。</p> <p>色紙を使った製作をする。（「星」、「桜」、「梅」、「雪」の切り紙をする。折り紙2枚を使ってクルクル回るおもちゃをつくる。折り紙やお花紙、クラフト紙等を使ってお店ごっこの商品を発想して製作することで、発想力と多様な紙を扱う技能を高める。）（目標(1)-2))</p> <p>第2回：造形表現の価値を理解する。</p> <p>新聞紙を使った製作をする。（「紙鉄砲」、「変わり帽子」及び「炎の剣」、「新聞紙のおはなし」を折る。新聞紙を使ったおもちゃをつくることで、新聞紙の折り方遊び方を数種類習得する。）（目標(1)-2))</p> <p>第3回：幼稚園教育要領の表現のねらい及び内容、内容の取り扱いを理解する。</p> <p>紙を使った工作について体験的に学ぶ。（カラーティッシュによる「伸びる花」、「雛人形」及び</p>					

	<p>「魚釣り」の製作をする。色を選ぶことで、色の効果や配色を楽しむことができることを実感する。(目標(1)-1), 2))</p> <p>第4回：絵を描けない理由を7つに分け、その理由別の指導法を考察する。 クレヨンを使った技法を体験的に学ぶ。(重色・スクラッチ・転写紙・フロッタージュ、ワックステレジスト等を試し、描画をすることで、自分の思いや経験を色と形で表現できることを知る。)(目標(1)-2), (2)-1))</p> <p>第5回：造形遊びについて理解する。絵具遊びの種類と道具、その扱いを理解する。(「糸引き絵」、「合わせ絵」、「シャボン玉絵」、「型押し絵」、「ビー玉ころがし」、「にじみ絵」、「砂絵」、「染め紙」遊びを体験する。材料用具の準備の仕方を学び、想像力、絵の具遊びの技能を高める。)(目標(1)-2))</p> <p>第6回：前回製作した「絵の具遊び作品」を使って製作をする。(「ちょうちょう」、「さいふ」、「こいのぼり」、「花火」などをつくる。また、できた模様から発想して、作品に貼り絵や描画を加えた後、「お話」を作品の裏に書き加える。製作を通して発想力、表現力を高める。また、学生同士で鑑賞し合うことで、よさを読み取りそれを言葉で伝える能力を高める。)(目標(1)-2))</p> <p>第7回：「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「図画工作科」へのつながりを理解する。 感触を楽しむ製作等について体験的に学ぶ。(小麦粉粘土を作成し、出来た粘土でグループ製作をする。また、フィンガーペイント製作及びスライム製作を行う。)(目標(1)-2), 4))</p> <p>第8回：土粘土の特徴と道具、その扱いを理解する。(土粘土での遊びを数種類体験した後、思いつくものを製作することで、土粘土を扱う技能を高める。)(目標(1)-2))</p> <p>第9回：造形表現の発達段階について理解する。保育指導案の様式を理解し、教材研究をしたうえで保育指導案を作成する。(目標(1)-1), (2)-2), 3))</p> <p>第10回：作成した保育指導案についての試作品を作成し、製作上の気付きを生かして教材研究を深め、保育指導案の修正をする。牛乳パックを使った製作を例として、指導上の留意事項について考察する。(目標(2)-1), 2), 3))</p> <p>第11回：作品に対する評価についての考え方を理解する。 作品例を見せながら、4人グループにおいて、保育指導案の発表をする。(教材のよさや、指導法の良さについて気付き、それを伝え合う。また、よりよくするための提案をし合う。また、作品を鑑賞し、気づいたことや、その良さを伝え合う。)各グループで製作する題材をひとつ選ぶ。 各学生はグループでの話し合いをもとに保育指導案を修正する。(目標(1)-3), (2)-2), 3))</p> <p>第12回：子どもの絵の心理について、子どもの絵の形態や色彩から子どもの心がある程度想像できることを知り、気になる表現があったら、子どもに優しくしたり、子どもの気持ちを受け止めたり、職員や保護者に相談するなどの対応ができることを学ぶ。 木育についてと幼児でもできる木工の事例について知り、木の船の製作をする。(目標(1)-2), (2)-1), 5))</p> <p>第13回：4人グループで製作をし、良かった点・改善するとよい点について話し合う。続けて代表者1名が、別のグループに模擬保育として製作指導をし、良かった点・改善するとよい点について話し合う。(目標(2)-2), 4))</p> <p>第14回：情報機器の活用について学ぶ。作品について情報機器を使って記録することで、幼児の個性や成長を読み取ることができることを知る。また、製作のねらいや課程を掲示することで、保護者や職員に保育内容を知らせることができることを知る。紙コップや紙皿を使った製作をし、その技能を習得する。(目標(1)-2), (2)-2))</p> <p>第15回：造形表現教育の実践例を2～3聞き、そのよさについて考察する。「ポップアップカード」を製作し、その技能を習得する。(目標(1)-2), (2)-5))</p> <p>期末試験</p>
履修条件・注意事項	<p>事前に学生準備物を示すので、忘れず準備すること。</p> <p>道具等の購入場所が分からない場合は担当教員に相談すること。</p> <p>製作した作品について、各自スマートフォンなどで撮影し、タイトルを記してデータを保存しておくこと。</p>

<p>学生に対する 評価</p>	<p>レポート35%・期末試験35%・作品15%・保育指導案作成及び模擬保育への貢献15% なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
<p>時間外の学習 について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次のレポート作成を時間外に行い、指定された日時までに提出すること。 <ol style="list-style-type: none"> ①テーマを決めて、折紙で表現する。 ②新聞紙を使った遊びについての例を調べ、内容と方法を記す。 ③幼児が色を選ぶことの良さについて考えを述べる。 ④クレヨンを使った表現の実践例を調べ、ねらい・内容・方法・指導上の留意事項、作品例の図を記す。 ⑤自然物を使った製作の実践例を調べ、ねらい・内容・方法・指導上の留意事項、作品例の図を記す。 ⑥絵具遊び作品をつくって物語をつくる製作において、1)自分の思いがどう表現されたか。2)表現する際に使った色や形について自分はどう意図したか。3)表現を通して自分が好きなことや関心を持っていること、願いなどが読み取れるか。以上について考えを述べる。 ⑦土粘土を使った製作の実践例を調べ、ねらい・内容・方法・指導上の留意事項、作品例の図を記す。 ⑧これまで自分が製作した作品を、スマートフォンなどで撮影し、タイトルを記して保存していたデータを基に、A4用紙1枚に作品の良さや学んだこと、向上した能力について整理した報告書を色彩や構成に留意して作成する。 ・授業時間内に作品は完成しない。各自時間をかけて、納得できるものとなるよう追究して仕上げる。作品の提出期限を示した提出作品チェックリストを配布するので、計画的に時間外学習をすすめてほしい。 ・保育指導案作成にあたっては、図書館で資料を探し、参考にするとともに、幼稚園教育要領に再度目を通した上で、ねらいや指導上の留意事項を書くようにする。グループ内での保育指導案発表にあたっては、発表したいことを明確にしておく。模擬保育においては提示する教材を作成した上で練習をし、自信を持って臨めるようにしてほしい。 ・時間外学習において1-334教室を使ってよい。その際、事前に担当守川にメールで連絡すること。
<p>テキスト</p>	<p>特になし</p>
<p>参考書・ 参考資料等</p>	<p>『幼稚園教育要領〈最新版〉』 『保育所保育指針〈最新版〉』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈最新版〉』</p>
<p>担当者からの メッセージ</p>	<p>この科目を受講すると同時に「図画工作」を履修し、基礎技能を習得することが望ましい。 この科目では、実際に製作する機会を多く持つ。幼児向けの題材であるが、大学生である自分の感性を働かせ、発想するとともに、自分の思いを表現するのだという気持ちを持って、配色・構成に気を配りながら、丁寧に製作しよう。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>毎週火曜日 14:40～16:10</p>